



きせき

秋草学園高等学校 卓球部通信
平成30年1月26日
第318号



耐え抜いた3年間!!

———秋草卓球部自慢の鈴木晴香さん———



2年前の個別相談会の時に担当の先生に「卓球部に入りたいという生徒がいるんですが、県大会には出ていないということです」と言われました。それでは直接私が断ろうと桔梗ホールに行って断ろうとしたら、何回か秋草に練習に来ていた三ヶ島中の選手。実績は無いけど熱心な選手という記憶が有り、入部を承諾したら大泣きしたのが鈴木さんの思い出です。生活面・行動面・技術面において日々努力している姿にととても感心していました。

「やめずに頑張っほしい」 鈴木 晴香

実績の無い、フォア打ちさえもできなかった私を先生は卓球部に入れて下さいました。先生にカットを教わりたい。沢山練習して強くなりたい。という思いでしたが、いざ入ってみるとそんなに簡単ではなく「大変な所に来てしまったな・・・」というのが最初の感想でした。

いつもまわりの人と自分を比べては落ち込んでいました。地区大会にさえ出られないことも有り、どんどん自信を失って、いつしか目標である「ベンチメンバー」になることをあきらめていました。それからの部活動は毎日が辛くて何度もやめてしまいたいと思いました。

それでも私は気持ちを切り替えて先生や選手をサポートすることでチームに貢献しようとしていました。周りの人は気づいてなかったけれど、古川先生はどんな小さなことでも気づいて「ありがとう」と言ってくれました。先生には本当にお世話になりました。大会や練習試合の時は私たちを喜ばせるためにいろんな所に連れて行ってくれました。家に行った時はおいしい肉やもちを食べさせてくれました。関東選抜で試合に出させてもらえた時は本当に嬉しかったです。先生が私にかけてくれた「鈴木は私の自慢の選手だよ。」という言葉で全てが報われた気がしたし、何でも頑張れました。

3年間の部活動を通じて、やめないで頑張ることができたのは先生や仲間そしていつも応援してくれる家族がいたからだ気づきました。現役の時の自分に自信がなかったけれど、引退した今では「苦しいことから逃げずにやりきった！」と思えて自分に自信が持てるようになりました。この先どんなことでも乗り越えて行ける気がします。3年間いろんなことがあったけど、周りにいる人たちのおかげで嬉しく楽しい思い出が残りました。

最後に秋草卓球部の良い所は、人に感謝できるようになるところだと思います。だから辛くてやめてしまいたくなくてもどうか引退まで頑張っほしい。それぞれの目標に向かって頑張っほしい。卓球部ですごした3年間の思い出は一生の宝物です。本当にありがとうございました。